

昨日 16:00 に開示しました「子会社の異動（特定子会社の異動）に関するお知らせ」において、別紙プレスリリースが漏れていたため、資料を添付しましたのでお知らせします。



2024年8月9日

各 位

会 社 名 マクニカホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 原 一将  
(コード番号：3132 東証プライム)  
問 合 せ 先 取締役 大河原 誠  
(TEL 045-470-8980)

## 【開示資料の追加】子会社の異動（特定子会社の異動）に関するお知らせ

当社の完全子会社である株式会社マクニカは、本日、西日本電信電話株式会社と共同で当社子会社である GAUSSIN MACNICA MOBILITY SAS（以下 GAMA）への出資を決定し、契約を締結いたしました。この出資の実施により、GAMA の資本金は当社資本金の 100 分の 10 以上となることを見込まれ、当社の特定子会社に相当することになりますので、お知らせいたします。

なお、西日本電信電話株式会社との契約の詳細は別紙、プレスリリースをご参照ください。

### 記

#### 1. 出資の目的及び背景

当社グループは、Vision2030 で掲げるサービス・ソリューションカンパニーを目指し、CPS ソリューション事業の中核として、スマートシティ/モビリティ領域におけるビジネス開発を推進しております。その一環として、GAMA の自動運転 EV バスを国内外の様々な自治体や法人のお客様に提供してまいりました。

日本国内においても自動運転レベル 4 の解禁を皮切りに、多くの自治体での自動運転 EV バスの導入や実証実験を数多く支援しております。そのような中、GAMA の保有する自動運転 EV バスの技術をコア技術として位置づけ、2023 年 5 月に GAUSSIN SA と株式会社マクニカで合弁会社 GAMA を設立し旧 NAVYA の資産を取得、2024 年 6 月には GAUSSIN SA が保有する普通株式を株式会社マクニカがすべて取得し完全子会社しました。

この度、西日本電信電話株式会社との共同出資を行うことで GAMA の経営資本の強化を図ると共に、日本を含む世界の主要な市場に対して自動運転車両の提供と長年の豊富な実績を元にした実装・オペレーションノウハウを継続して提供します。

#### 2. 当該会社の概要

(1) 名 称	GAUSSIN MACNICA MOBILITY SAS
(2) 所 在 地	1, rue Dr Fleury Papillon, Villeurbanne, (69100) - France
(3) 代表者の役職・氏名	CEO, Jean-Claude Bailly
(4) 事 業 内 容	自動運転ソフトウェア開発、自動運転バス/トラクタ車両製造販売
(5) 資本金（発行株式総数）	€5,000,000 (50,000,000 株)

(6) 設 立 年 月 日	2023年5月2日	
(7) 大株主及び持ち株比率	株式会社マクニカ (100.0%)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	株式会社マクニカが100%出資しております。
	人的関係	株式会社マクニカの専門役員1名と従業員1名が取締役を兼務しております。
	取引関係	株式会社マクニカは当該会社に対して、商品の売買及び資金の貸付等の取引を行っております。
(9) 当該会社の最近1年間の経営成績及び財政状態	2023年12月期(9か月)	
決算期	2023年12月期(9か月)	
純 資 産	€1,130,499	
総 資 産	€10,468,895	
1株当たり純資産	€0.022	
売 上 高	€3,416,925	
営 業 利 益	€-4,821,470	
経 常 利 益	€-4,943,659	
当 期 純 利 益	€-3,869,501	
1株当たり配当金	-	

### 3. 契約の詳細

1. 契約相手：西日本電信電話株式会社
2. 出資先：GAUSSIN MACNICA MOBILITY SAS
3. 出資額：西日本電信電話株式会社より€10,000,000、当社より€10,000,000
4. 出資後の資本金：€34,306,101 (€1を160円で計算すると54.9億円となります)
5. 契約締結日：2024年8月8日
6. 出資実施時期：2024年中に実施予定

株式会社マクニカのGAMAへの貸付金€9,306,101全額を資本金に変換後、両社で出資する予定です。資本金への変換、株式会社マクニカ及び西日本電信電話株式会社の出資実行後の資本構成は以下の通りとなります。

名称	株数	比率
株式会社マクニカ	243,061,014株	70.85%
西日本電信電話株式会社	100,000,000株	29.15%

### 4. 業績への影響

GAMAの特定子会社化に伴う当社グループの連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。今後、業績に重大な影響を与えることが判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

### 5. その他

現在、GAMAは商号の変更を計画しております。変更後の名称はNavya Mobility SASとなります。なお、両社による出資並びに社名変更につきましては、フランスの法律に従い、CSE承認(労働者代表者機関)、競争法確認並びに当局の許可を経て正式に完了となります。

以上



(報道発表資料)

2024年8月8日  
西日本電信電話株式会社  
株式会社マクニカ

## 自動運転サービスの社会実装をさらに加速、Navya Mobility へ出資

西日本電信電話株式会社（本社：大阪府大阪市都島区、代表取締役社長：北村 亮太、以下、NTT西日本）、株式会社マクニカ（本社：神奈川県横浜市港北区、代表取締役社長：原 一将、以下、マクニカ）は、2024年問題によって懸念されるドライバー不足による路線バスの運行減少等の社会課題の解決を見据え、Navya Mobility SAS（ナヴィア モビリティ）（本社：フランス リヨン、CEO：Jean-Claude Bailly、以下、Navya）<sup>※1</sup> への出資に関する契約を締結し、自動運転サービスの社会実装をさらに加速させ、地方自治体における社会課題の解決に貢献していきます。

※1 Navya は、自動運転ソフトウェア開発、車両実装・運用に専門知識を持つエンジニアを120人以上有する企業です。都市部や郊外向けの15人乗り自動運転EVバス「ARMA（アルマ）」および「EVO（エヴォ）」は、世界26か国で200台以上の販売実績を誇るリーディングカンパニーです。2023年5月 GAUSSIN SA（ゴーサン）とマクニカで合弁会社 GAUSSIN MACNICA MOBILITY SAS（ゴーサン マクニカ モビリティ）を設立し旧 Navya の資産を取得、2024年6月には GAUSSIN SA が保有する普通株式をマクニカがすべて取得し完全子会社化しました。今回マクニカの追加出資にあわせて、NTT西日本が新たに出資することとしました。それに伴い新社名を「Navya Mobility SAS」に変更する予定です。なお、両社による出資並びに社名変更につきましては、フランスの法律に従い、CSE承認（労働者代表者機関）、競争法確認並びに当局の許可を経て正式に完了となります。



## 1. 背景

少子高齢化による人手不足や物流・運送業界におけるドライバーの労働時間制限による2024年問題等により、地域交通の維持や運送業におけるドライバー不足などに関する社会課題が深刻化しています。それらの社会課題の解決策として、自動運転などのモビリティ技術を活用した持続可能な公共交通・物流の実現が急務な状況です。また、2023年4月1日に改正道路交通法が施行され、自動運転レベル4<sup>※2</sup>での公道走行が許可されるなど、自動運転サービスの社会実装に向けた機運が高まっています。

こうした背景を踏まえNTT西日本グループとマクニカは、2023年8月2日より自動運転分野において事業提携を開始<sup>※3</sup>し、地方自治体や交通事業者と自動運転の社会実装に向けた取り組みを推進することで、2024年度の国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」において、10事業以上の採択を頂きました。

日本における自動運転の社会実装をさらに推進し、多くのお客様へより安心・安全な自動運転サービスを提供するため、国内外で多くの自動運転実証・実装事例を有し、自動運転のキーテクノロジーを有するNavyaへ出資し、自動運転サービスを継続的に供給する体制を整えます。

※2 特定条件下における完全自動運転：特定条件下においてシステムがすべての運転タスクを実施

※3 2023年8月2日報道発表「スマートシティのパイオニアNTT西日本グループと、自動運転EVバスで世界をリードするマクニカが、次世代の地域交通システムで提携」<https://www.ntt-west.co.jp/news/2308/230802a.html>

## 2. 出資先について

- ① 出資先企業：Navya Mobility SAS
- ② 代表者：Jean-Claude Bailly
- ③ 所在地：1 Rue du Docteur Pierre-Fleury Papillon Villeurbanne,(69100) France
- ④ 事業内容：都市部や郊外向けの15人乗り自動運転EVバス「ARMA」および「EVO」の販売および次世代型自動運転バス開発。私有地内貨物搬送向け自動運転トラクター開発および販売。
- ⑤ 出資比率：NTT西日本 29.15%、マクニカ：70.85%

## 3. 出資の目的

NTT西日本とマクニカは、自動運転分野における事業提携後、地域交通のスマートモビリティ化に向けた実証実験／本格導入におけるコンサルティング、運行ルート設計、運用センター立ち上げまでトータルサポートするとともに、スマートシティ実現に向けた最適なモデル設計およびネットワーク、充電設備などの関連サービスをワンストップで提供してまいりました。

Navya への出資を通じて、自動運転車両、自動運転システムの開発力、提供能力を含め

たサプライチェーン上流から下流までのトータルでの強化をめざしており、自動運転の社会実装に向けたコンサルティング、構築・実装、保守・運用まで、これまで以上にお客様のニーズに迅速にお応えできるシームレスなスキームを確立していきます。

#### 4. 今後の展望

本出資を契機に、地域交通維持や 2024 年問題といった社会課題解決および地方創生の実現に貢献するとともに、政府が実現をめざす 2025 年度を目途に 50 か所程度、2027 年度には 100 か所以上で自動運転レベル 4 の移動サービスの実現に貢献します。

当面は交通課題を抱える複数の地方自治体との協働を通じて、コミュニティバス分野におけるサービス提供に取り組み、将来的には自動運転の車種メニューを拡充していきます。

自動運転の社会実装後も、マクニカの技術力と N T T 西日本グループの地域密着のコンサルティング・社会実装力をいかし、地方自治体や地域交通事業者等のステークホルダーと綿密なコミュニケーションを図りながら、次世代地域交通システムのさらなる発展を通じ、地方自治体や住民の方々の暮らしを支えてまいります。

将来的な自動運転事業の展開・拡大にあたっては、自動運転車両、自動運転システム、通信ネットワーク、遠隔監視システム、遠隔監視サービス、現地駆け付けサービスなど、自動運転サービス普及の仕組みをトータルで提供する体制を構築し、医療や行政、小売・物流といった様々な MaaS サービスを実現する基盤を構築していきます。

#### 「次世代地域交通システム」でめざす地域創生イメージ





次世代地域交通システムの確立を通じて、持続可能な地域社会づくりに挑戦していきます



## 5. 本件に関する問い合わせ先

西日本電信電話株式会社

自動運転 EV バス担当

担当：宮崎、小山、谷口

Email：ev-bus@west.ntt.co.jp

TEL：06-6335-9253

株式会社マクニカ

イノベーション戦略事業本部 スマートシティ&モビリティ事業部

担当：福田

Email：auto-solution@macnica.co.jp

TEL：045-470-9118

※お問い合わせの際は、電話番号、メールアドレスをお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします。

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

西日本電信電話株式会社 広報室 報道担当 (山本)

TEL：06-6490-0024 MAIL: nttw-press@west.ntt.co.jp

株式会社マクニカ 広報室 (宮原)

TEL：045-470-8980 MAIL: macpr@macnica.co.jp

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。